

私立大学図書館協会西地区部会
役員校・当番校の選出基準についての申合せ

2009年9月17日 制定

(総則)

1. 本申合せは、私立大学図書館協会西地区部会（以下「西地区部会」という）の各地区協議会（以下「各地区」という）に所属する加盟館が私立大学図書館協会の役員校・当番校の受け持ちを輪番制で選出する基準である。

西地区部会各地区に所属する加盟館が当該役員校・当番校を受け持つ場合は、各地区の基準を尊重して、本申合せが各地区の選出基準を妨げないこととする。

(対象)

2. 役員校・当番校の対象は、私立大学図書館協会会長校（以下「会長校」という）、西地区部会長校（以下「部会長校」という）、西地区部会監事校（以下「監事校」という）、私立大学図書館協会総会・研究大会当番校（以下「総会・研究大会当番校」という）、西地区部会総会当番校（以下「総会当番校」という）、西地区部会研究会当番校（以下「研究会当番校」という）とする。

輪番を受け持つ地区については、1989～2016年の実績や順序を尊重しつつ、同年度に同地区からの当番校選出の重複を可能な限り避ける。

(会長校)

3. 会長校は、収容定員（注1）が8,001人以上（注2）の大学が所属する西地区部会の各地区の校数比率を目安にした輪番制とする。

(部会長校)

4. 部会長校は、2016年までの輪番制を継承する。

（注3）部会長校輪番（2017年度以降の輪番：阪神→京都→中国・四国→東海→九州）

ただし、会長校の輪番と部会長校の輪番が同地区に重複する場合は、会長校の選出を優先し、部会長校の選出を他地区と調整する。

(監事校)

5. 監事校は、前部会長校とする。

ただし、前会長校が西地区から選出された場合は、前会長校とする。

(総会・研究大会当番校)

6. 総会・研究大会当番校は、収容定員が6,001人以上の大学が所属する西地区部会の各地区の校数比率を目安にした輪番制とする。

(総会当番校、研究会当番校)

7. 総会当番校、研究会当番校は、2016年度までの輪番制を継承する。

（注3）総会当番校（2017年度以降の輪番：京都→東海→阪神→九州→中国・四国）

研究会当番校（2017年度以降の輪番：九州→中国・四国→京都→東海→阪神）

(施行と見直し)

8. この申合せの施行は別紙輪番表のとおり2017年度から2044年度の輪番とする。

ただし、長期に渡るため、10年毎を目処に状況に応じて申合せの見直しが必要であるか等を西地区部会役員会において検討する。

(改廃)

9. この申合せの改廃は、西地区部会役員会において決定する。

注1. 収容定員は、『平成20年度全国大学一覧』東京：財団法人文教協会、2008年』による平成20年5月1日現在の収録状況の入学定員に基づいて算出した。

注2. 私立大学図書館協会会費細則（平成8年度施行）

注3. 「役員校、委員会委員等選出方法（西地区部会を中心に）」（2006年4月1日修正）

私立大学図書館協会西地区部会役員校・当番校輪番制

実績・予定 役員校・当番校(1989～2016)							案 役員校・当番校(2017～2044)									
年度	会長校	部会長校	監事校	全国総会	西総会	西研究会	年度	会長校	部会長校	監事校	全国総会	西総会	西研究会			
1989	東	阪神	東海	阪神	阪神	京都	2017	東海	阪神	九州	阪神	京都	九州			
1990				中国四国	九州	東海	2018				京都	東海	中国四国			
1991	阪神	京都	阪神	東	中国四国	阪神	2019	東	京都	東海	東	阪神	京都			
1992				東	京都	九州	2020				東	九州	東海			
1993	九州	東海	阪神	阪神	東海	中国四国	2021	九州	中国四国	京都	東海	中国四国	阪神			
1994				東	阪神	京都	2022				阪神	京都	九州			
1995	東	九州	九州	東	九州	東海	2023	東	東海	九州	東	東海	中国四国			
1996				東	中国四国	阪神	2024				東	阪神	京都			
1997	京都	阪神	九州	京都	京都	九州	2025	阪神	九州	東海	京都	九州	東海			
1998				東	東海	中国四国	2026				九州	中国四国	阪神			
1999	東	京都	京都	九州	阪神	京都	2027	東	阪神	阪神	東	京都	九州			
2000				東	九州	東海	2028				東	東海	中国四国			
2001	東海	中国四国	京都	東	中国四国	阪神	2029	京都	中国四国	阪神	東海	阪神	京都			
2002				東海	京都	九州	2030				阪神	九州	東海			
2003	東	東海	東海	東	東海	中国四国	2031	東	京都	京都	東	中国四国	阪神			
2004				東	阪神	京都	2032				東	京都	九州			
2005	京都	九州	東海	中国四国	九州	東海	2033	東海	九州	京都	阪神	東海	中国四国			
2006				阪神	中国四国	阪神	2034				中国四国	阪神	京都			
2007	東	阪神	京都	東	京都	九州	2035	東	東海	東海	東	九州	東海			
2008				東	東海	中国四国	2036				東	中国四国	阪神			
2009	阪神	京都	阪神	京都	阪神	京都	2037	阪神	京都	東海	九州	京都	九州			
2010				九州	九州	東海	2038				京都	東海	中国四国			
2011	東	中国四国	阪神	東	中国四国	阪神	2039	東	阪神	阪神	東	阪神	京都			
2012				東	京都	九州	2040				東	九州	東海			
2013	京都	東海	中国四国	東海	東海	中国四国	2041	京都	中国四国	阪神	東海	中国四国	阪神			
2014				中国四国	阪神	京都	2042				阪神	京都	九州			
2015	東	九州	京都	東	九州	東海	2043	東	東海	京都	東	東海	中国四国			
2016				東	中国四国	阪神	2044				東	阪神	京都			
西地区小計(1989～2016)							小計	西地区小計(2017～2044)							合計	
役数	14	14	14	28	28	28	126	役数	14	14	14	28	28	28	126	252
東海	1	3	3	2	5	6	20	東海	2	3	4	3	6	5	23	43
京都	3	3	4	2	5	6	23	京都	2	3	4	3	6	6	24	47
阪神	2	3	4	3	6	6	24	阪神	2	3	4	5	6	5	25	49
中国四国	0	2	1	3	6	5	17	中国四国	0	3	0	1	5	6	15	32
九州	1	3	2	2	6	5	19	九州	1	2	2	2	5	6	18	37
西担当計	7	14	14	12	28	28	103	西担当計	7	14	14	14	28	28	105	208

私立大学図書館協会西地区部会役員校・当番校輪番制の基準（目安）

2009.9.17

収容定員数*1		東海		京都		阪神		中国・四国		九州		合計	
		校数*2	役比率*3	校数	役比率	校数	役比率	校数	役比率	校数	役比率	校数	役数*4
会長校	6,001人以上	7	1.69	5	1.21	12	2.90	1	0.24	4	0.97	29	7.00
	7,001人以上	6	2.00	4	1.33	9	3.00	0	0.00	2	0.67	21	7.00
	8,001人以上	5	2.06	4	1.65	6	2.47	0	0.00	2	0.82	17	7.00
総会・研究大会	4,001人以上	13	3.19	10	2.46	18	4.42	7	1.72	9	2.21	57	14.00
	5,001人以上	11	3.28	8	2.38	16	4.77	6	1.79	6	1.79	47	14.00
	6,001人以上	7	3.38	5	2.41	12	5.79	1	0.48	4	1.93	29	14.00
	7,001人以上	6	4.00	4	2.67	9	6.00	0	0.00	2	1.33	21	14.00
	8,001人以上	5	4.12	4	3.29	6	4.94	0	0.00	2	1.65	17	14.00

* 1 : 収容定員 : 平成 2 0 年度全国大学一覧から算出した収容定員数

* 2 : 校数 : 当該収容定員の西地区部会の地区別校数及び西地区部会合計

* 3 : 役比率 : 各収容定員数別の地区校数 ÷ 西地区合計校数 × 役数 = 役回りの担当目安

* 4 : 役数 : 2 0 1 7 ~ 2 0 4 4 年までの会長校、全国総会・研究大会等の西地区担当数